

## たき火による火災統計について

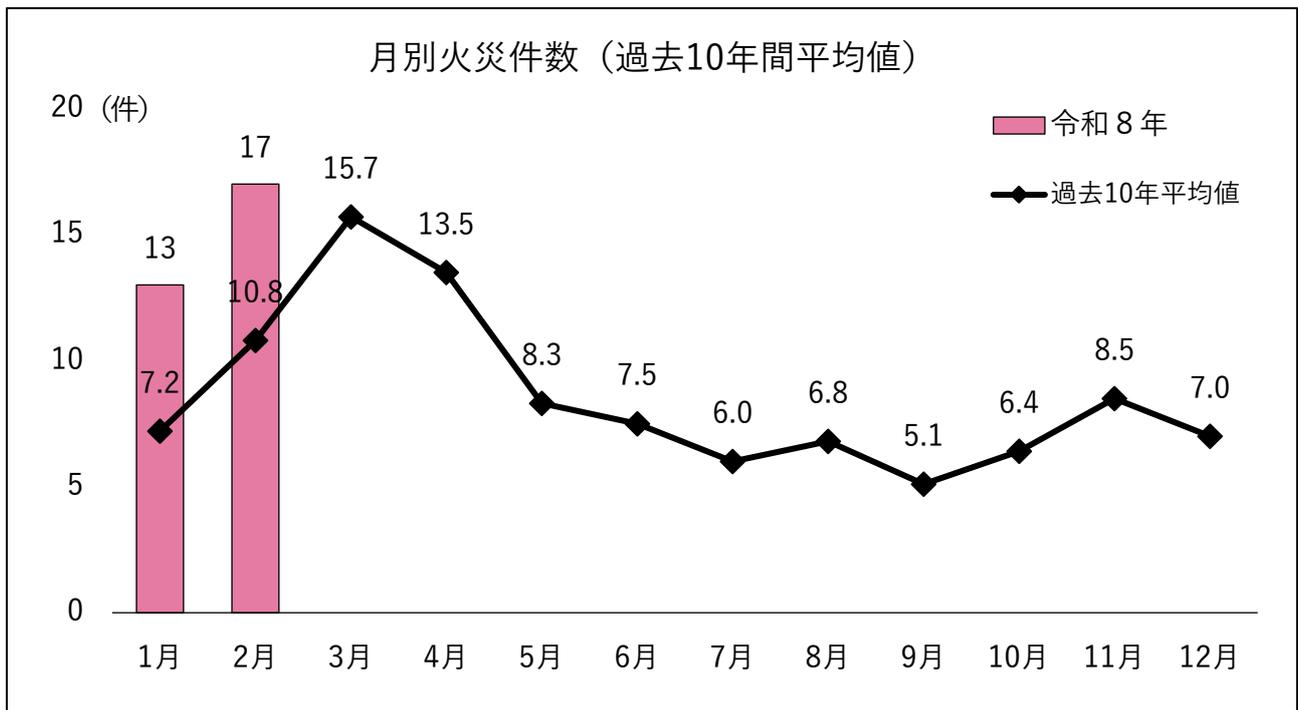
2026年2月末までに、郡山地方広域消防組合管内で30件の火災が発生し、前年同時期と比較すると20件増加しています。また、火災原因をみると、「たき火」から出火した火災が10件（33.3%）発生しており、前年の2倍となっています。

本組合管内では、例年3月ごろから、たき火による火災が増加する傾向が見られ、今後も空気が乾燥し降水量の少ない状態が予想されることから、広く注意喚起を図るためたき火による火災統計を取りまとめましたのでお知らせします。

※ 小数点を含むものは、小数点以下第2位を四捨五入したもの

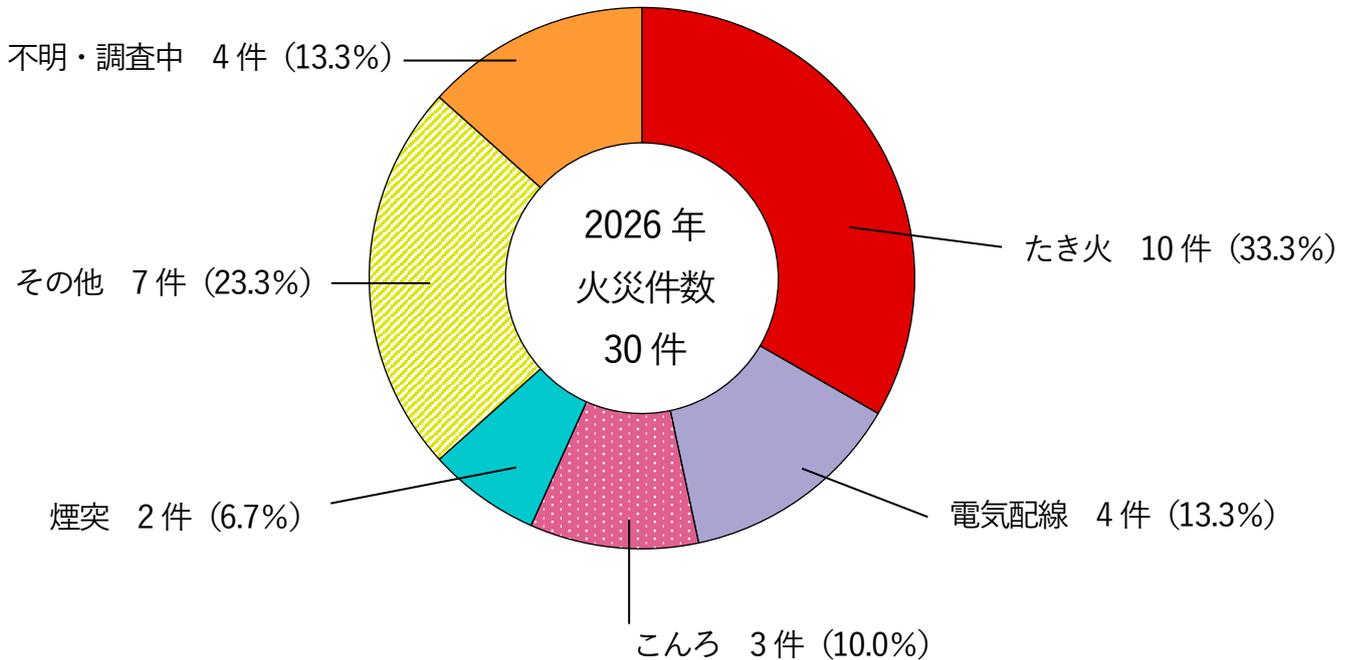
### 1 月別火災件数

2026年2月末までの火災件数は30件となります。月別でみると、1月が13件、2月が17件と、過去10年間の平均値と比較すると2026年の火災件数は増加傾向であることが分かります。



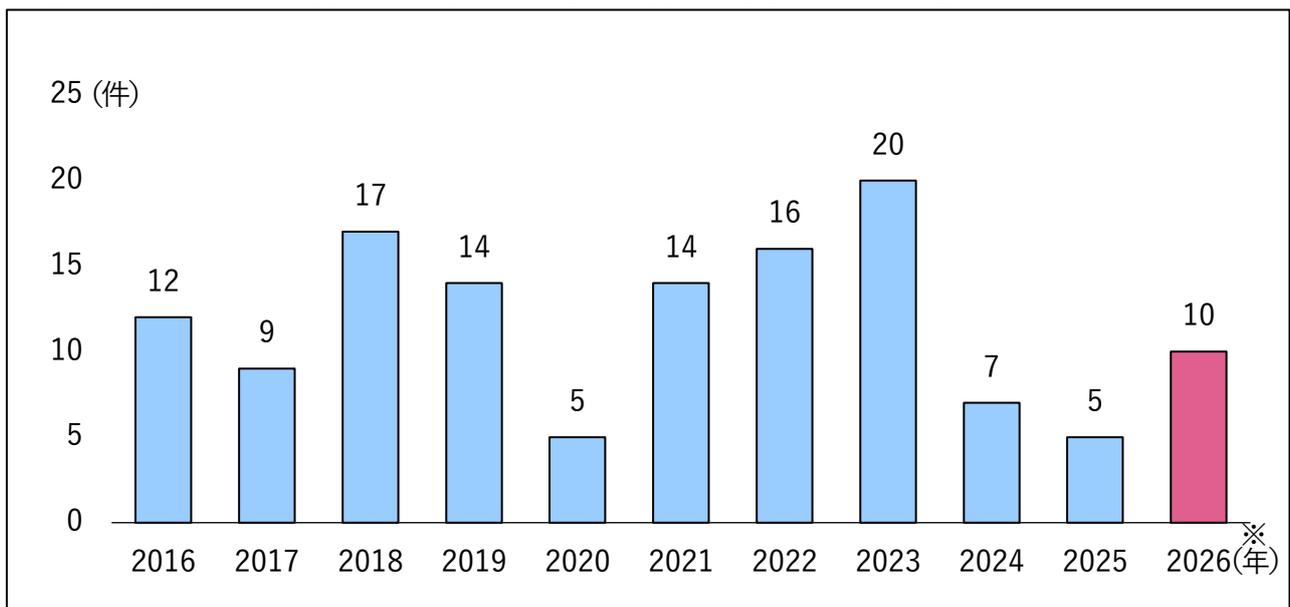
## 2 火災原因別件数

火災原因別にみると、「たき火」による火災が10件（33.3%）と最も多く、次いで「電気配線」が4件（13.3%）、「こんろ」が3件（10.0%）となっています。



## 2 「たき火」による火災件数（過去10年間の推移）

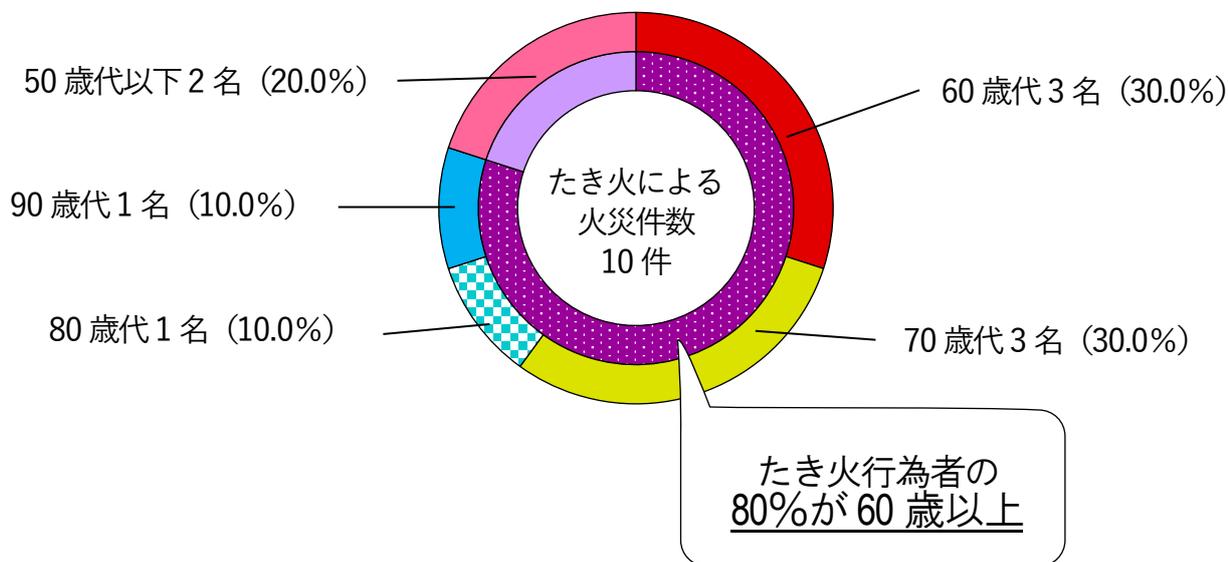
過去10年間の「たき火」が原因による火災は129件で、2023年が最も多く20件（15.5%）、2018年は17件（13.2%）、2024年から減少傾向にありましたが、2026年は2月までに10件発生し、2025年の5件を上回っています。



※2026年2月末まで

### 3 「たき火」行為者の年代

2026年2月末までに発生した「たき火」が原因による10件の火災について、行為者を年代別で見ると、60歳以上が8名（80%）と多くを占めています。



#### ■ たき火による火災予防の徹底

##### (1) ごみ等の焼却について

家庭や事業所などでのごみの焼却は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で禁止されています。ごみは、各自治体のルールに従い処分しましょう。

##### (2) 農業の一環として行われる火入れについて

郡山地方広域消防組合火災予防条例に基づき、「火災とまぎらわしい煙又は火災を発生おそれのある行為の届出」を消防署・各分署等に届け出たうえで、以下の点に注意して行ってください。

- 周囲に建物や燃えやすい物がある場所では行わない。
- 水バケツや消火器など、消火の準備をする。
- 焼却中はその場を離れない。
- 焼却は小分けにして行う。
- 焼却後は確実に消火し、火種がないことを確認する。
- 風が強い時は行わない。

#### ◆ 林野火災注意報・警報発令時は、たき火は行わない。

林野火災警報発令時のたき火は罰則の対象になる場合があります。